

「総ぐるみ」新聞

NPO 総ぐるみ福祉の会事務所は日限山 4・44・23 (八四四一七四七七)
 入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」日限山 4・7・1

施設見学会 神奈川県住宅供給公社

ケア付き高齢者住宅 ヴィンテージ・ヴィラ横浜

神奈川県住宅供給公社は、「快適・安心のシニアライフ」というキャッチフレーズで、介護付き有料老人ホームを県内で五カ所(横浜・向ヶ丘遊園・洋光台・相模原・横須賀)設置・運営しています。先般、全国に先駆けて神奈川県住宅供給公社が平成二年に開設し、三二六戸に対して三倍の申込みがあり、抽選入居を行ったというヴィンテージ・ヴィラ横浜を見学しましたので、報告します。

先的に移住できます。現在の入居者は五十九〜九十五歳で、女性と男性は7対3の割合で入居とのことでした。

●居室

中央入口を挟んで東棟一四階、西棟一〇階で、1K(約一〇〜一四坪) 2K(約一四〜一八坪)の居室タイプがあり、各室とも南向きで専用ベランダ付き。IHヒータ設備の台所、トイレと洗面所、浴室があり、広い居室には納戸付きもあります。年一回は、大掃除に入るといふことです。

●共用施設

食堂、大浴場、介助と機械浴の特別浴室、応接室、健康管理室、静養室(十一室)の他、外来者宿泊室(三室)、霊安室、地下には有料ながらトランクルームもありました。

また、健康・生きがい施設として、介護予防に力を入れている屋内プールとフロアエクササイズルーム(インストラクター常駐)、卓球やビリヤードのできるホール、映画会が行える多目的ホール、オーディオルーム、ゲームルーム(麻雀室)、茶の湯もできる和室、図書室、美容室、工芸室(焼き物の焼成釜あり)、外来家族と共に調理・食事ができるファミリーダイニングルーム(3室)があり、五〇近いクラブ活動が行われているという。これら多彩な共用施設は、わが国にこのような住宅の先例がないため、アメリカのリタイアメントハウス等を視察し、ノウハウを導入して作られたそうです。

●セキュリティ

中央入口で出入館チェックや配達物の取次を行い、万一の避難誘導にも迅速に対応するために、セキュリティスタッフが二十四時間常駐。廊下や館内各所にある「緊急押しボタン」またはペンダント形の「携帯用緊急コール」による通報に対応します。

また、居室のトイレ・浴室につながる入口には生活リズムセンサーが設置されていて、十二時間通行がないとスタッフに通報されるとのこと。なお、外出時に鍵をフロントに預けると、留守中必要な居室の電源が切れる特殊コンセントが使われていました。

●健康管理サービス

入居者全員に、年一回の人間ドックを提供するほか、提携病院から医師がきて、週一回健康相談の日があります。介護保険制度ができてからは、介護保険特定施設の指定を受けて、入居者との契約によって、介護度にあつた介護サービスを行っています。

●所在地

相鉄線三ツ境駅、またはJR横浜線十日市場駅下車、バス一五分の若葉台中央より徒歩五分、プールやテニスコート、児童公園のある緑豊かな公園に隣接しています。この若葉台中央には、住宅供給公社の一般住宅群やイトーヨーカ堂、横浜銀行・郵便局、旭中央総合病院など、便利な施設がそろっていました。

●入居資格

満六十五歳以上の自立の人を対象とする終身利用権方式、全室個室の高齢者住宅です。なお、一定の介護状態になった場合は、移り住み提携施設「トレクオーレ」(横浜若葉台または横須賀)の二カ所に、追加費用なしで優

1月の日限山荘は、13、16、20、23、27、30日のam10:00～pm4:00まで開催しています。

一時的な病気や怪我には、協力病院への受診通院、入院、お見舞い、退院援助等が、入居時に払う介護費の範囲内で提供され、静養室でケアを受けられます。なお、介護認定を受けても居室介護も可能ですが、認知症や疾病で日常生活の殆どに介助が必要となると、静養室に移り住みとなります。

●食事

外部業者委託の食堂があり、朝食三一五円、昼食四二〇円で各二種類のメニューから選択、夕食は八四〇円でカロリーの違う四種類のメニューがありました。治療食にも対応可能とのこと。ティーパーティーやスペシャルディナー(有料)の日もあります。食堂利用率は、六〇～七〇%とのこと。

当日は、かき揚げ丼、キュウリとしらすの酢の物、みそ汁と、サンマー麺、酢の物の昼食でしたが、どちらもおいしく食べました。

●費用

入居時には、年齢による入居金十介護費

(一人当たり税込六百三十万円)が必要です。

【一人入居の場合の入居金】

65～69歳(20年償却)三千六百六十万

70～74歳(16年償却)三千三十万

75～79歳(14年償却)二千七百万

80歳以上(12年償却)二千三百五十万

入居金の一部を月払いにする制度あり。

【毎月必要な費用】は、一人入居の管理運営

費は八万八千五百円、このほか各室の光熱

水費、電話料、駐車場使用料等が必要です。

看

護

職

員

トレクオーレ

横浜若葉台

ヴィンテージ・ヴィラ横浜から徒歩五分の場所にある介護専用型有料老人ホームで、ヴィンテージ・ヴィラでの生活が困難になった折に、移住する終身利用方式のホームです。ヴィンテージ・ヴィラの契約書には、要介護三以上になったら、トレクオーレ移住とあるものの、本人や家族の承諾は遅れがちで、現在の入居者の平均介護度は四、大半の方が車椅子使用です。

●居室

二～五階に個室の居室があり、共用のリビング・ダイニングをもつ七～八人のグループユニット方式で、各階に三ユニットずつ、定員九十二名ですが、現在は六十名入居中。二階は、胃ろう・糖尿病等の医療行為や全介助が必要な高度ケアの方のフロアー、三階は認知症を主としたフロアー、四・五階がそれ以外のフロアーです。階段のシャッターを閉じて、同じフロアーなら自由に行動できます。各フロアーは、床の色や居室のドアの色分けをしてあります。

居室には、電動ベッド(マットレスとサイドレール付き)、キャビネット、ワードローブ、エアコン、緊急コール設備、カーテンで囲った洗面室とトイレがあり、各階に、共用サロンやケアステーションがあります。

●介護体制

非常勤を含めて看護職員十五名、介護職員七十五名で、ほぼ入居者と看・介護職員が一対一に近い恵まれた状態です。また夜間は、看護職員一名、介護職員七名による対応です。

「楽しく最期を迎えてほしい」ということでやっていますが、介護専用の療養型病院に近い施設になっているそうです。

●共用施設

介助浴槽ストレッチャヤーや車椅子対応の機械浴などの浴室があり、身体状況によって利用できます。そのほか、大型ランドリー機械と乾燥機を設置した洗濯室、健康相談室、応接室、ヘアサロン、講演会や発表会、リハビリなどに使用するホール、近親者による葬儀もできる霊安室がありました。

また屋上には小さな菜園があり、白菜・大根・キャベツが植わっていました。秋にはさつま芋の収穫を入居者が行い、大好評であったと聞きました。

●生活サービス

洗顔・整髪・化粧・着替えなどの身だしなみ介助や排泄支援、居室の定期的清掃の他、入浴は週三回、洗濯は毎日サービスを利用できます。また、月一回カット・シャンプー、協力医療機関へのスタツフの付き添いや、週一回の買物等の代行(一部有料)も行います。

●ヘルスケアサービス

協力医療機関の医師による健康相談、二十四時間常駐看護師による健康管理、与薬管理や薬受取り代行等を行い、「在宅療養支援診療所」との契約により、看取りも行うそうです。

●費用

ヴィンテージ・ヴィラからの移住でない場合は、年齢別入居一時金と毎月の必要経費が二十三万～二十五万円必要となります。

…「NPO総ぐるみ福祉の会」のホームページ (<http://sougurumi.jp/>) をぜひご覧ください。…

編集:藤井香代